

ヘー・ハリ・スンダラ

ヘー・グル・スンダラ

おお、美しいハリ神よ、おお、榮譽に満ちたグルよ、
私はあなたのハスの足に頭を下げます。

あなたはすべての深い森の中の暗く、黒ずんだ陰です。
あなたはすべての山々のそびえ立つ頂です。

あなたはすべての川の速くて、急な流れです。
あなたは海の深遠な静けさです。

あなたは苦しむ人々の悲しみの中にいます。
あなたはヨーギたちの至福の中にいます、おお、グルよ。

「ヘー・ハリ・スンダラ ヘー・グル・スンダラ」

グル・ナーナクが作ったとされるバジヤン

ジュリアン・エルフアーによる紹介

この美しい——スンダラ！——バジヤンは、シーク教の創始者であるグル・ナーナクが作ったとされています。それは、彼の中心的な教え——至高なるグルである唯一の神が、区別なく、万物の中に宿っているという教え——に、喜びにあふれ、愛のこもった表現をもたらしています。

グル・ナーナクは、1469年にインドのパンジャブ州のヒンズー教徒の家庭に生まれました。彼は陶然とした悟りを開いた存在で、家庭を持ち、2人の息子を育て、霊的な神の啓示を尊重しなくてはならないと認識するまで、一時は会計士として働きました。彼は探究者たちの心を、当時一般的だった、宗教的、社会的、宗派などの偏狭な相違を超越する、至高なる存在がいると目覚めさせることに駆り立てられました。

幼い頃からの友で、リュート(訳注:洋琵琶)の一種であるラーバーブを演奏するイスラム教徒のマルダーナを伴って、ナーナクはインド中とインドを越えて広範囲にわたって旅をしました。ナーナクは旅をしながら、グルの神聖な生き生きとした存在を、視界の至る所に認識し、あまねく広がるグルを崇拝して歌を作りました。このバジヤン、「ヘー・ハリ・スンダラ ヘー・グル・スンダラ」は、そのような歌です。

ハリは、ヴェーダの時代までさかのぼる古い名前です。それは、絶対なる者、この宇宙の一つ一つの粒子の中に存在している、あまねく広がる大いなる意識を表しています。「ヘー・ハリ・ス

ンダラ」は、自然の驚くべきことの中に現れ、区別することなく、完全にすべての心の中に宿っている唯一の神の認識へと、私たちを招きます。この賛歌の心象は壮大である一方、最後の詩節は、何か親しみがあってなじみ深いものの認識——私たち自身の心の中で起こる直接体験——へと、私たちを導きます。

シッダ・ヨーガのミュージシャン、ヴィジュ・クルカルニが歌い、私たちが聞いているこのメロディーは、ヤマン・ラーガで作曲されています。このラーガは、献身、平和、思いやりの資質を呼び起こします。このバジャンを聴いたり、一緒に歌ったり、あるいはその意味を瞑想したりすることにより、私たちは自分自身を、この神聖な歌が伝える輝かしい体験へと開放します。

ヴィジュ・タイによるこの優美な表現と共に座った後、軽快な繰り返し部分、「ヘー・ハリ・スンダラ、ヘー・グル・スンダラ」が、私の内側で何度も繰り返されています。それは喜びに満ち、愛のこもった感謝の認識——「このすべてはあなたです！」——で、たたえながら歌全体を作り上げています。私たちはこの繰り返しを大いに楽しみ、私たちの日常生活全体にわたって、それが鳴り響くままにするという機会を持っています。「おお、美しいハリ神よ、おお、栄誉に満ちたグルよ！」

